浪江町農業委員会総会議事録 (令和6年4月定例会)

1 開催日時 令和6年4月22日(月)午後1時30分から午後3時12分

2 開催場所 浪江町役場 2階 202会議室

3 出席委員(10人) 欠席委員(1人)

会長	4番	佐々木 茂夫	(欠)
会長職務代理者	1番	原田 良一	(出)
委員	2番	鈴木 敬二郎	(出)
	3番	山本 幸一郎	(出)
	6番	小澤 英之	(出)
	7番	柴野 正男	(出)
	8番	菅野 富美恵	(出)
	9番	中野 弘寿	(出)
	10番	紺野 宏	(出)
	11番	神長倉 正満	(出)
	12番	若槻 芳則	(出)

4 出席農地利用最適化推進委員(17人)

浪江地区担当	緒形 亘	苅野地区担当	藤田 一宏
浪江地区担当	川島 優	苅野地区担当	田中 静夫
幾世橋地区担当	安部 正之	苅野地区担当	高田 秀光
幾世橋地区担当	木村 耕治	苅野地区担当	上野 和人
幾世橋地区担当	上田 順一	苅野地区担当	横山 良男
請戸地区担当	脇坂 薫	津島地区担当	木幡 一郎
請戸地区担当	荒川 勝己	津島地区担当	石川 昭悦
大堀地区担当	桑原 泉	津島地区担当	関場 健治
大堀地区担当	遠藤 定郎		

5 議 事

議案第1号	農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件(所有権移転)	1件
議案第2号	農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件(賃借権設定)	3件
議案第3号	農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件(使用貸借権設定)	2件
議案第4号	農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件(地上権設定)	2件
議案第5号	農地法第4条の規定による許可申請に対し審議の件	1件
議案第6号	農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件(所有権移転)	1件
議案第7号	農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件(賃借権設定)	2件
議案第8号	農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件(使用貸借権設定)	1件

6 事務局職員

事務局長	金山 信一
事務局次長	長沼 和也
事務局係長	国分 丈典
事務局員	吉田 奈津子

議長 (会長代理の原田良一委員より挨拶)
それでは、只今より4月定例会を開会いたします。
ただいまの出席委員数は10名でございます。また、推進委員数は13名でございます。定足数に達しておりますので、会議を始めます。
まず、本日の議事録署名人を指名いたします。先に通知しておりましたとおり、8番菅野委員および9番中野委員をお願いいたします。

それでは、議案の審議に入ります。
議案第1号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件所有権移転1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。(議案書1-1 ページ 1番読み上げ)

説明は以上となります。よろしくをお願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

横山推進委員 立野地区担当の横山です。
4月13日二本松市の〇〇〇会長宅に電話を入れ、平成7年ころに諸事情により、〇〇〇に名義を変更し現在に至っております。
今回は譲受人〇〇くんより買収話があり、〇〇くんに戻すことにしました。本来この〇〇〇は〇〇くんのお父様が開設したもので、下げ戻しただけです。〇〇〇の再開ですということです。
4月16日〇〇〇に寄ってみました。その際、〇〇くんから話を聞きました。今回の件は〇〇さんから〇〇〇の会長に申し出たものです。現在牛は180頭ほどいるそうです。福島県相双家畜保健所からの指示で、移動は禁止になっています。エサは食べさせて死を待つだけということです。兄も九州から帰ってきたので、浪江に住所を移し、兄弟で〇〇〇を経営していきたいと思っていますというような話でした。
以上です。

議長 事務局、地元推進委員の説明が終了しました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
議案第1号1番に賛成の委員の起立を求めます。
(起立多数)
起立多数であります。よって議案第1号1番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、議案第2号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件賃借権設定1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 (差し替え案内)
説明いたします。
(議案書2-1 ページ 1番読み上げ)

説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

遠藤推進委員 大堀地区担当の遠藤です。よろしくお願ひします。
4月15日〇〇さんに電話をしました。3年前に5年間の受委託契約をしていましたが、今回の申請は3月末に行政書士が第3条申請の委任状4通を持参したので、返却した経緯があります。
本人曰く、農地法の申請はしておりません、初耳であると。委任状も私の知らないこと。5年契約で2年間契約しておりまして、あと残り3年経てば再契約するものと思っておりましてということで第3条の申請はしていませんでした。
あと後半の方は事務局からお願いします。

事務局 事務局です。
〇〇さんとお話をさせていただいて、遠藤推進委員がおっしゃられた5年間という話は、受委託契約を5年間契約で〇〇〇とされているという話でした。それで、〇〇さん自身は5年間でしか許可をしていないので、今回3条申請の方で、令和6年4月1日に申請を受け付けまして、それからまた5年間という賃貸借契約については納得できないというお話をされていました。受委託契約が終わる令和9年5月31日までの期日に3条申請も合わせることで〇〇さんが納得をされたということなので、今回許可申請書自体差し替えということにさせていただいております。以上です。

議長 事務局、地元推進委員の説明が終了いたしました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
はい、3番。

山本委員 あの地区で〇〇〇さんが一生懸命ネギを作られているんですけど、その受委託契約が農業委員会に諮ってないので、実際私らはいつまで貸してるかは理解してないんですね。多分〇〇さんだけじゃなくて、皆さん9月までが受委託契約なのかな、ちょっとその辺説明わかれば。
これから毎回他の人が〇〇さんと同じようなことになると農業委員会も何やってるんだというようなお話になるかと思うんですけど。
私以前から言ってるんですけど、その受委託契約っていうのが、農業委員会に何にも入ってないから、分からないんですね。農業法人さんがやられてんだけど、報告もなくて、契約の方法がここには出てこないんですよ。はじめから言ってもらわないと、今回〇〇さんだけ出てきたんですけど、他の人もそうならないのかなっていうのが。わかる範囲で説明お願いします。

事務局 はい。特定農作業受委託の件でございます。
農地はですね、所有者が自ら営農をするというものでございまして、今回の特定農作業受委託と申しますのは、震災後ですね、営農再開支援事業というものが始まりまして、農地所有者が帰還するまで。最初は、避難指示後3年までは農地保全。その3年が終わったら、本来であれば営農に切り替わるということでありましたが、なかなかすぐ営農できる準

備に至らなかったもので、農地の所有者が帰還するまで、営農して管理するというメニューができましたということになります。

農地法3条の許可との関係ということになりますが、農地法3条の許可だと、その帰還するまで営農して管理するというものが対象外になってしまうということになりまして、県との話し合いの中で、その実際の耕作と販売まで委託契約を結んだ中で、実施するということが今回議論になっている特定農作業受委託の中身になります。

お互いの契約なので、統一された金額は無いんですけども。例えば3000円であった場合にはですね、それは収益の中から一定額収入として農地保有者にお支払いすると。それは傍で見ると農地の賃借料に見えるんですが、農業活動の中の収益の一定額を所有者にお戻しするというような中身になっているので、農地法3条の許可の範囲外ということではあります。ただ、今3番委員おっしゃったようにですね、農業委員会として、どこでだれがどのような計画でそういった営農をされているとか、特定農作業受委託の契約期間がいつまでだかというのは農業委員会としては正確に把握できていないというのが現状だと考えています。

町内の多くの農地が、特定農作業受委託で耕作をされておりますけども、今回の〇〇〇さんの件に関しては、ハウスとかですね、そういったものが建てられてるとことになりますと、それはもう帰還するまでの間営農して管理するということからは外れますので、それはしっかり3条申請を出すというような話の中から今回出てきているということになります。

なので、この営農再開支援事業がいつまで続くかということになりますので、そうすると今のところ皆さんも地域の話し合いの中でお聞きしてると思いますが令和7年度が終期ということとなっておりますのでその後はですね、各地で地域計画の話し合いであったりとか、いつ農地バンクに切り替えていくんだという話になりますので、その特定農作業受委託ではなくて農地バンクであったり、こういった3条申請の手続きをとって進めていくということになっています。

3番委員のご指摘からすると、どこでこういった契約が行なわれていて、いつまでだとかそういったところがわからないというのは確かに農業委員会の皆様、推進委員会の皆様に明確にお示しできていないというのが現状でございます。

山本委員

わたくしは、受委託契約の期限が令和7年度までかなって思ってたんですけども、申請が令和9年までってなってるんで、受委託契約は9年まででよろしかったのかなってというのがちょっとこの説明文と、受委託契約の期限の末尾が違うように思われるんですけど。

前の説明では、7年度までは受委託契約を認めますって農業委員会と言ってただけど、今の説明だと9年度までは受委託契約認めるようなお話だったんでこれでいいのかなっていう、ちょっと説明が。

事務局

営農再開支援事業に絡むものは、かかる経費に関しても令和7年度までなんですけども、制度自体はもともとある制度でございますので。インターネットとかで検索すると、特定農作業受委託という制度自体は全国一般にあるものではありません。

ただ、この地域ですね、営農再開支援事業と相当な関連があって進めて

きたところもございますので、今それをしっかり農地バンクに切り替えていくというように地域にはお話しているところでございます。ただ農地バンクに乗らないところは個別に農地法の申請に切り替えていただくとか、個別にお話しをしていくようになると考えております。

山本委員

もう一回聞いていいですか。

じゃあ5年契約でいつまで借りてんだかくらいは、農林水産課さんではわかってんのかな。以前の説明だと令和7年度以降は農地バンクを通してやるように指導していきますからってここで説明してたのね。だからこれ令和9年までで賃借権でやるのは、法的に何にも言うことないんだけど、受委託契約は10年とか12年契約までなってたのかっていう説明が一緒じゃないっていうことを言いたい。

休議いたします。

(特定農作業受委託契約と農地バンクの切り替えについて)

再開します。

議長

その他ございませんか。

山本委員

賃借権設定する前からハウスが建っているがどうしてか。ハウスがボロボロなので、ネギを栽培する状況になっているのか。

事務局

営農者への聞き取りや指導によって3条に切り替えましたが、3条を出す時期が遅くなってしまいました。顛末書に関しては、営農なので求めませんでした。ハウスの状況を申請者に確認をして、直すべきは直すように話します。

若月委員

付随して、何らかの事業を活用してハウスを建てたのですか。

事務局

高付加価値産地展開支援事業の設備導入を活用しています。

若月委員

農業委員会で事業を精査してほしいと要望します。

事務局

地域計画の策定に向けて、その後の農地バンクということで話し合いをしています。地域の人ができるか、どこまでできるかを明確にする、その次に、参入したい法人がいるか等段階を踏んでいます。立野地域に担い手を紹介している中での話になりますが、その先のどこで何を作るかを共有して進めていきたいと思えます。

遠藤推進委員

〇〇さんの委任状の押印についてどうなっていますか。

4月15日に聞き取りをしました。被設定人〇〇〇さんは、5棟について指導により申請しました。事業を拡大して浪江支店を設置し、人員を配置したいと考えています。地域との調和について、県の官民合同チームから派遣であります。草刈り堀払い等をし、仲良くやっていきたいとのこと。

事務局 印鑑は代理人として行政書士が押印しているので、〇〇さんは不要です。

(質疑無し)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
議案第2号1番に賛成の委員の起立を求めます。
(起立多数)
起立多数であります。よって議案第2号1番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、議案第2号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件賃借権設定2番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。
(議案書2-1 ページ 2番読み上げ)
説明は以上となります。よろしく願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

遠藤推進委員 (小野田推進委員が聞き取りするが、当日欠席するため遠藤推進委員へ聞き取り内容を引き継ぐとのこと)

大堀地区担当の遠藤です。
〇〇さんは、〇〇〇さんの指導がありまして、申請になったということの説明を受けました。
あと、〇〇〇さんについては先ほどの通りでございます。
以上です。

議長 事務局、地元推進委員の説明が終了いたしました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
議案第2号2番に賛成の委員の起立を求めます。
(起立多数)
起立多数であります。よって議案第2号2番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、
議案第2号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件賃借権設定3番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。
(議案書2-1 ページ 3番読み上げ)
説明は以上となります。よろしく願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

遠藤推進委員 大堀地区担当の遠藤です。
天野さんと同じく小野田推進委員が聞き取りしたのを代理で言わせていただきます。
〇〇さんも〇〇〇さんの指導がありまして、内容に対して申請したということで伺っております。
あと、〇〇〇さんについては先ほどと同じでございます。
以上です。

議長 事務局、地元推進委員の説明が終了いたしました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
議案第2号3番に賛成の委員の起立を求めます。
(起立多数)
起立多数であります。よって議案第2号3番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、
議案第3号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件使用貸借権設定1番、
議案第4号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件地上権設定1番 及び
議案第7号農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件賃借権設定1番について、関連しておりますので一括審議としてよろしいでしょうか。
(異議なしの声)
それでは一括審議といたします。

議案第3号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件使用貸借権設定1番、
議案第4号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件地上権設定1番 及び
議案第7号農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件賃借権設定1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。(議案書3-1・4-1・7-1 ページ読み上げ)

本件は、株式会社〇〇〇が関わる営農型発電設備の設置に係る申請です。
2月、3月の総会の現地調査が不調であったため継続審議となったものです。
申請地の位置については7-9ページをご覧ください。山麓線から〇〇〇に入る道路沿いにあり、農地の種類は、農用地区域内農地です。
7-11ページに土地利用計画図がありますが、パネルの下でヒサカキを栽

培する計画となっております。
一般基準の資力についての確認は、すべての農地転用の案件について、残高証明書等を提出いただき、事務局で問題ないことを確認しておりますので、これ以降の議案については説明を省略させていただきます。
3月の現地調査の際に指摘があった竹の根につきましては、重機による撤去作業がされておりました。
当委員会のガイドラインで提出を求めている書類については、7-24ページから設備の保守に関する契約書、7-27ページが確約書、7-28ページから調整状況報告書、7-31ページが当該地での収支計画書となっております。
本案件は、議案第3号1番及び第4号1番は当委員会が許可権者となりますが、議案第7号1番は福島県知事が許可権者となりますので、当委員会の意見を付して進達いたします。説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

桑原推進委員 大堀地区担当の桑原です。
報告内容は先月、先々月と同じで、電話にて3名とも確認いたしました。設定人の〇〇さんにつきましては、先方からのお話もあり、申請に至ったということを確認しておりました。
株式会社〇〇〇に関しましては、取締役〇〇さんに電話で確認しております。〇〇〇さんが申請した通りです、よろしくお願いいたしますということでした。
あと、〇〇〇さんにつきましては、代表取締役〇〇さんと電話にて確認いたしました。〇〇〇さんが取りまとめ、プロデュースしてくれておりますのでお願いしたいということでした。
以上です。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

山本委員 山本です。現地調査を先ほどの桑原委員、私、紺野委員とで確認をしました。
前々回と畑の状況が悪くて流れていた案件でしたが、今回は綺麗になっていました。よろしくお願いいたします。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
始めに、議案第3号1番についてですが、先行事例のヒサカキの営農状況や当該法人がヒサカキの収穫や販売に関して実績が無いことなどを踏まえ、権利を設定する農地の全てを効率的に利用することが可能か、また、周辺の営農環境へ支障を及ぼさないような管理が可能かという点で懸念があるため、ヒサカキの生育状況や当該法人の農地の管理について一定の期間注視する必要があります。確認できる段階で問題が無いのか改めて判断する必要があることから、使用貸借権の設定期間を3

年間とすることが妥当と考えますが、賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第3号1番については、権利設定の期間を3年とすることで承認を与えます。

つづきまして、議案第4号1番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第4号1番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、議案第7号1番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第7号1番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、

議案第3号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件使用貸借権設定2番、

議案第4号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件地上権設定2番 及び

議案第8号農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件使用貸借権設定1番について、関連しておりますので一括審議としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは一括審議といたします。

議案第3号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件使用貸借権設定2番、

議案第4号農地法第3条の規定による許可申請に対し審議の件地上権設定2番 及び

議案第8号農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件使用貸借権設定1番について、事務局の説明を求めます。

事務局

説明いたします。(議案書3-2・4-2・8-1 ページ読み上げ)

本件は、営農型発電設備設置の申請で、パネルの下での営農者が、〇〇町の認定農業者である㈱〇〇〇、パネル設置に係る 区分地上権設定 と支柱部分の一時転用については、東京都の㈱〇〇〇という事業者になっております。㈱〇〇〇はインターネット広告を主な事業としている会社です。

申請地の位置について8-9ページをご覧ください。川添南上ノ原〇〇の北側に位置する畑で、周辺を宅地や山林に囲まれた小集団の生産性の低い農地となりますので、2種農地に該当します。

8-23ページをご覧ください。2種農地は、当該農地に代えて周辺の他の土地では事業の目的が達成できない場合に許可できるものとなっておりますが、他の土地と検討したが当該地しか適当な土地が無かったという検討がされておりますので、立地基準は問題ありません。

8-11ページをご覧ください。図のようにパネルの下の農地でサツマイモを栽培する計画となっております。これ以外に土地利用計画を示す書類がなかったため、補正の指示を再三行いましたが、十分な資料の提出が

ありませんでした。

本件につきましては、申請者側より 17 日の現地調査までに申請地の位置出しなどの対応ができないという連絡が 16 日に事務局にありまして、今月の現地調査は実施できないと判断しました。

説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

緒形推進委員 浪江地区担当の緒形です。
設定人には 4 月 18 日に電話しまして、〇〇さんに確認しました。高齢のため営農と管理等が難しいので、誰かできる人に任せたいということで、被設定人〇〇さんにサツマイモ栽培をということで所有権移転するということでした。

〇〇さんにも 4 月 18 日に確認しまして、新たに農地として営農するにあたり、サツマイモをやりたいというお話を伺いました。周辺の農家さんと農薬等は基準を守ってしっかりやりたいということでしたので、ご審議の程お願いします。

あと、被設定人〇〇〇さん太陽光発電施設については、先ほど説明あった通り、まだちょっとできてないということだったんですけども、太陽光発電事業の拡大をしたいということでした。

以上審議お願ひいたします。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明ですが、事務局から説明ありましたとおり現地調査ができませんでしたので省略いたします。

事務局、地元推進委員の説明が終了いたしました。

本件については、現地調査が不調でしたので継続審議とすることでよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

それでは、議案第 3 号 2 番、議案第 4 号 2 番、及び議案第 8 号 1 番については継続審議といたします。

荒川推進委員 素朴な質問なんですけど、サツマイモって日陰で栽培よくないじゃないかって。そもそも日なたじゃないと生育不良起こしますよね。

議長 休議します。
(サツマイモの生育について)
再開します。

事務局 はい。議案の 8-38 ページをご覧ください。
こちらの一番上、3. 営農への影響の見込み(1) 生育に適した日照量の確保っていうところで当該設備下への生育に問題は無いということが申請時に上がってきております。

そのことについての資料といたしまして 8-44 ページに資料がついてございます。

また、そのことに関しまして、双葉普及所に県を通して計画の妥当性の確認を行っておりまして、県の方では問題ないという回答をいただいております。

以上です。よろしくお願ひいたします。

議長

よろしいでしょうか。

つづきまして、

議案第5号農地法第4条第1項による許可申請に対する審議の件1番についてですが、委員本人が関わっておりますので、浪江町農業委員会会議規則第18条の規定により、○番○○委員の退席を求めます。

暫時休議いたします。

(○○委員退席)

再開いたします。

議案第5号農地法第4条第1項による許可申請に対する審議の件1番について事務局の説明を求めます。

事務局

(差し替え案内)

説明いたします。(議案書ページ5-1)

申請地の位置については、5-8、5-9ページをご覧ください。国道6号線を○○○の交差点から東に入り、(有)○○○に隣接する農地です。

農地の種類は、北側と東側に広がる10ha以上の一団の農地と接続していますので、第1種農地となります。第1種農地は原則転用ができませんが、転用目的について、本日差し替えでお配りしております顛末書をご覧ください。当該地には、既に農業用倉庫が建築されており、今回追認を求めるものとなっております。

農業用倉庫につきましては、第1種農地の不許可の例外である農業用施設に該当しますので、立地基準上問題ないものとなります。

また、筆の東側の駐車場に転用する部分につきましては、18-2の宅地部分には駐車スペースが2台分しかなく、農地等の管理の際に親族の車両を駐車する場所が不足していることと、地域の農家が農作業の際に使用するための車両や、農機具置き場として利用するという点です。周辺地域に居住する者の日常生活上または業務上必要な施設であり、不許可の例外である集落接続事業に該当しますので、問題ないものと考えます。

一般基準につきましては、当該地の地目は田んぼですが、従来畑として利用していたこと、また、近年は防草シートを敷き農地としては利用しておらず、許可後も形状を変えるものではないため、周辺農地への影響等はないものと考えます。

本件は3,000㎡(30a)以下の農業用施設及び集落接続事業ですので、当委員会が許可権者となります。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

議長

つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

緒形推進委員

浪江地区担当の緒形です。

○○さんには4月17日に現地調査した際に直接聞き取りを致しました。農業用倉庫が今建っています現況、顛末書の件について、申し訳ありませんといただきました。こちら今後○○地域のほ場整備が終わりましたら、近隣の農家さんたちと駐車場等使っていきたいということで、許可

の方お願ひしますと申し出がありました。以上になります。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

紺野委員 10番紺野です。
先ほど申し上げた通り4月17日に現地調査を行って参りました。写真にある通りまだ畑状態でした。顛末書にもあります通り、現況で許可していただきたいということを申されておりました。
ただ、一つ疑問がありましたのが、ここがほ場整備の際に大きな田んぼの道路になるということです。じゃあこの道路になったときに農地で収用されるのか宅地で収用されるのかという疑問が残りましたので、この件は後程帰ってから確認するという事で終わりました。
皆さんからのご審議よろしくお願ひいたします。

事務局 事務局から補足で説明いたします。
今10番委員おっしゃった通りですね、ほ場整備との関係はどうかということ、事業主体である県に確認いたしました。今調査中であつて、確実に道路になるということは断言できないということでございました。今の申請を止めるといったことは無いという反応がありました。ただ将来的に今後調査が具体的に成ってきたときに、どうしてもというときには地域外の買収という可能性はあるようですが、現段階でそこを取り込むという計画にはなっていないというお答えをいただいたところであります。以上になります。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。これより質疑に入ります。質疑ございませんか。
(質疑無し)
質疑無しと認めます。
それでは採決に入ります。採決は起立により行います。
議案第5号1番に賛成の委員の起立を求めます。
(起立多数)
起立多数であります。よつて議案第5号1番に原案のとおり承認を与えます。
ここで〇番〇〇委員の入室を認めます。暫時休議いたします。
(〇〇委員入室)
再開いたします。

つづきまして、
議案第6号農地法第5条第1項の規定による許可申請に対し審議の件所有権移転1番について、事務局の説明を求めます。

事務局 説明いたします。
(議案書6-1 ページ読み上げ)
申請地の位置につきまして、6-9ページをご覧ください。申請地は、ページ中央の矢印で示されている箇所、都市計画用途地域内ですので、農地の種類は、第3種農地となります。第3種農地の転用は、原則許可とされておりますので、立地基準は問題ありません。

土地利用計画図について、6-11 ページをご覧ください。12 戸入るアパートが建築され、駐車場、物置等を整備するような計画となっております。

特段面積が過大なものではなく、排水や日照等、周辺農地への影響もないものと考えられますので、一般基準についても問題ないものと考えられます。

本件は 3,000 m²以下の非線引き用途地域内農地の申請ですので、当委員会が許可権者となります。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

議長 つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

緒形推進委員 はい、浪江地区担当の緒形です。

4 月 18 日に〇〇さんお二方に連絡いたしましたして、聞き取り調査いたしました。今後農地の管理が難しいために、〇〇〇さんの仲介で〇〇〇さんを紹介していただいて所有権移転することに決めたそうです。

〇〇〇さんも 18 日に聞き取り調査をしまして、貸し住宅を経営規模拡大のために建てるということでした。適切に土砂の流出に対し、コンクリート土留を施工して管理をするということと、下水道は、公共下水道に接続して処理しますとのことでした。

以上です。

議長 つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

紺野委員 10 番。

4 月 17 日〇〇〇から委任されている〇〇〇の〇〇さんから説明を受けました。

当日 4 月 17 日は草が茂って、領域が不鮮明だったということでこれはちょっとやり直ししてくださいと。もし本日の委員会に間に合うのであれば、写真を提出してくださいと話しをしました。資料 6-1 の写真をもって皆さんにはご審議いただきたいということでよろしくお願い申し上げます。

議長 事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

(質疑無し)

質疑無しと認めます。

それでは採決に入ります。採決は起立により行います。

議案第 6 号 1 番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第 6 号 1 番に原案のとおり承認を与えます。

つづきまして、

議案第 7 号農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対し審議の件賃借権設定 2 番について、事務局の説明を求めます。

事務局

(差し替え、追加資料の案内)
説明いたします。(議案書 7-2 ページ読み上げ)

まず、議案書 7-68 ページをご覧ください。こちらには、本件一時転用に係る本体事業についての概要が記載されておまして、浪江 IC より北側の 2 車線区間を 4 車線化する工事を令和 8 年度までに行うということです。

申請地の位置について 7-69, 7-70 ページをご覧ください。7-69 ページの借地一覧の番号が、7-70 ページの図面の申請地の番号となっております。高速道路脇の農地を、工事のための進入路や作業ヤード、資材置き場として利用したいというものです。

農地の種類は、農用区域内農地ですが、転用の期間は 24 ヶ月であり、3 年以内の一時転用となりますので、立地基準は問題ありません。

一般基準については、添付の書類上は周辺農地への影響等、適切な対応がされるものとなっております、特段問題ないものと考えられます。

本件は 3,000 m²を超える事案ですので、当委員会の承認後、福島県農業会議常設審議委員会に諮り、常設審議委員会の意見を付して県に進達いたします。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

議長

つづきまして、地元推進委員の説明をお願いします。

高田推進委員

室原担当の高田です。よろしくお願いいたします。
今回は常磐道の工事に伴う資材置場等に利用するという事になっております。所有者であります、〇〇さんには 4 月 18 日、〇〇さん 4 月 17 日、〇〇さん 4 月 17 日、〇〇さん 4 月 17 日、〇〇さん 4 月 18 日電話で確認しまして、今回の内容は了承済みだということです。
〇〇〇さんの方の確認は、7-67 ページなんですけど、この度⑨番の排水工事、室原組合の方に説明済ということで、この議案書ができた時点で説明済みと記入されていますが、私が確認したのは 4 月 17 日でございます。
この辺ちょっとおかしいなというふうに感じました。以上です。

議長

つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

横山推進委員

立野地区担当の横山です。
〇〇さん、〇〇さんについては 12 日に確認しました。〇〇さんについては、再度電話入れたのですが繋がりませんでした。あと、〇〇〇の〇〇さんには、14 日に確認しました。農業委員会の許可が下り次第仕事に入りたいというようなことです。以上です。

議長

つづきまして、現地調査委員の説明をお願いします。

山本委員

3 番山本です。
ちょっと先ほど 67 ページの 9 番の件はちょっと理解してなかったんですけども、排水計画の室原復興組合への説明の件。
事務局、推進委員の通りで、常磐道路の工事で写真がきれいに映ってますんで写真で確認されるとよくわかるんですが、今耕作してる農地は多分ないのかなと思われてる場所なので、問題は無いかと思われま

で、どうぞ審議よろしく申し上げます。

議長

事務局、地元推進委員、現地調査委員の説明が終了いたしました。
これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

(質疑無し)

質疑無しと認めます。

それでは採決に入ります。採決は起立により行います。

議案第7号2番に賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

起立多数であります。よって議案第7号2番に原案のとおり承認を与えます。

議長

以上で、本日上程されたすべての議事が終了いたしました。

令和6年4月22日

開始時刻 午後1時30分

終了時刻 午後3時12分

議 長

議事録署名人 (8番)

議事録署名人 (9番)